

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		かるみあご 0				公表日	2025年 3月 29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	1	人員配置基準守っています。	人員配置は適切ではありませんが、小学校低学年の利用者様が中心の事業所になっているため、安心してご利用いただけるように今後更にゆとりある人材確保に努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	視覚で理解できるように掲示するなどの工夫をしています。安全確保を考えた上で配置を検討していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		日々の清掃に加え、換気、温度、湿度管理等できるだけ快適に過ごせる環境となるように配慮しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		こどもの意思ではなく支援者の判断によるものになるが、体調不良のときなど休養を取れるスペースを設けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	現状なされています。	現状に満足せず、日々の振り返りや細かい打ち合わせを実施し、更なる業務改善を実施していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		開所初年度につき、実績はありませんが、保護者様のご意見を取り入れ、日々改善につとめてまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		特に機会を設けずとも、必要に応じて意見交換をし改善につなげております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		実施しております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		かるみあ全体で研修を行い、職員の資質向上を図っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		HPにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		支援会議で支援者相互で意見交換することで、偏らない計画書の案ができています。また、必要に応じて、公認心理師・言語聴覚士からの助言の元作成を実施しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		支援に関わる職員で支援会議を行った上で検討し、子どもの最善の利益を考慮した計画書の作成をしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		サービス計画を職員全員で共有し、日々の支援に反映するように努めております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		フォーマル・インフォーマルともにアセスメントを利用し、日々の確認を実施しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	活動内容や支援方法について意見交換を行い、情報の共有や共通の目標を把握できるように努めております。	現状に満足せず、今後は、さらにチームで共有・立案・実行・改善を行っていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		活動内容を月ごとに計画し、その都度利用者のバランスを見て活動内容を検討しています。その上で必要だと思われる活動は、固定化している内容もございます。		

保 護 者 へ	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		児童それぞれの発達や能力に応じて、個別の課題と集団での課題や社会性の課題を計画の中に取り入れています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		打合せできる時間は短時間になりますが、連携できるように取り組んでおります。今後は更なるチームの強化を図っていきます。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		その日に振り返りをし情報を共有した上で、次回の支援へ向けての課題を改善できるように努めています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		日々の支援記録として、活動時の様子や気になる点を記入し、改善につなげられるよう取り組んでおり、保管もしています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		決められた期間に実施し、見直しを行っております。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		実施しておりますが、本人支援が重視になっているので、他の支援も組み合わせられた幅を広げた支援計画をおこない実践していくように努めます。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		行っております。例えば、工作などで自分の作りたい色・柄などを選んでもらう、など自分の気持ちを行動に反映させることを積み重ねるよう意識しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		子どもの状況を一番理解している職員が対応しております。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		学校や相談事業所など、関係機関と連携し支援をする環境・体制を構築するように努めております。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		保護者からの情報に加えて、送迎時に学校の先生に質問したり、HPや学校便りからも情報を集めるようにしています。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		児童発達支援事業所と密に連携を取り、情報共有と相互理解に努めています。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3		これまでに対象・実績がございません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	連携を取るように努めております。	現状は少ない連携になっているため、更なる連携強化を行っていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	地域のイベントに参画しております。	今後は、更なる地域活動に参画する機会を設けていきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		参加しております。		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		電話でのお話や送迎時などで情報共有を実施するようにし、共通理解ができるよう努めております。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		保護者会を実施したり、卒業後の講演会の実施や交流会の実施を行っております。		
保 護 者 へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に必ず実施しております。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		計画書の案をもとに保護者様との面談を行い、こどもやご家族の意向を確認しております。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		面談を実施し、同意をいただいております。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		必要に応じて実施しております。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3		ご家族（兄弟も含め）参加型のイベントを開催し、交流する機会を設けております。		

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		実際に苦情をいただいたことはまだありませんが、かるみあとしての対応が確立しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		必要に応じて、HPやSNSにて発信をしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		鍵付きのキャビネットで保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		ご家庭の情報も職員全体で共有することで、配慮をしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	地域のイベントに協力し子どもたちと参加したり、地域の参加者にも来所していただき一緒に楽しんでもらえるようにしております。	事業所単体では実績がないため、今後開催していきます。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルを作成し、訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		策定し定期的に訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		契約時に状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		学校提出の物をコピーして提出していただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		定期的に訓練を行い、子どもの安全を管理した支援に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		契約時に説明をし、ご家族へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		危険な事例はヒヤリハットを記入し、情報の共有を図っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		かるみあ職員全員が参加する内部研修を規定回数実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		契約時に身体拘束の説明を実施しております。 ※現在対象者はいません。	